みずほCustomer Desk Report 2020/06/02 号(As of 2020/06/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.75 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.71	1.1116	119.69	1.2348	0.6659
SYD-NY High	107.85	1.1154	119.96	1.2506	0.6804
SYD-NY Low	107.38	1.1101	119.42	1.2329	0.6648
NY 5:00 PM	107.60	1.1135	119.81	1.2490	0.6798
NY DOW	25,475.02	91.91	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,552.05	62.18	日本10年債	0.004	0.40bp
S&P	3,055.73	11.42	米国2年債	0.16	▲0.39bp
日経平均	22,062.39	184.50	米国5年債	0.31	0.64bp
TOPIX	1,568.75	5.08	米国10年債	0.67	1.46bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,230.00	275.00	独10年債	-0.4055	4.40bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,166.42	89.82	英10年債	0.2290	4.60bp
DAX	-	-	豪10年債	0.9000	0.80bp
ハンセン指数	23,732.52	771.05	USDJPY 1M Vol	5.48	0.13%
上海総合	2,915.43	63.08	USDJPY 3M Vol	5.88	▲0.00%
NY金	1,750.30	▲ 1.40	USDJPY 6M Vol	6.58	▲0.03%
WTI	35.44	▲ 0.05	USDJPY 1M 25RR	-1.29	Yen Call Over
CRB指数	132.35	0.10	EURJPY 3M Vol	7.49	▲0.01%
ドルインデックス	97.83	▲ 0.51	EURJPY 6M Vol	8.05	▲0.09%

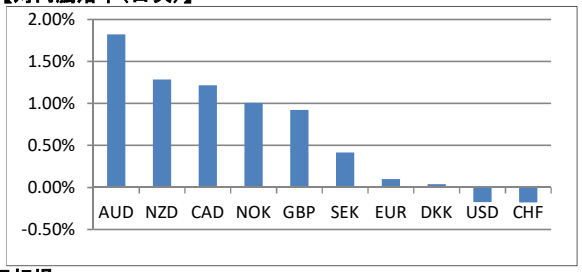
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
6月1日	16:55	独	ﾏｰｸｲｯﾄ製造業PMI・確報	5月	36.6	36.8
	22:45	米	ﾏｰｸｲｯﾄ製造業PMI・確報	5月	39.8	40
	23:00	米	ISM製造業景況指数	5月	43.1	43.8

Date	Time		Event		予想	前回
6月2日	13:30	豪	RBAｷｬｯｼｭﾚｰﾄ	-	0.25%	0.25%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は107.71ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｵｰﾌﾟﾝ直後はﾄﾞﾙ買いが優勢。日経平均株価が22,000円台を回復する動きを好感する円売りも意識されてか107.85まで上昇。その後は米国で黒人男性が白人警察官に首を圧迫され死亡した事件を受け、大規模な抗議ﾃﾞﾓが全米で広がっていることが意識され、ﾄﾞﾙ売りが優勢となり107.49まで下落。やや値を戻し、結局107.51ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、107.51ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。香港情勢をめぐり米中対立の激化懸念がくすぶるなか、朝方に「中国が米国の大豆輸入の一部を停止する可能性がある」とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが流れるとﾘｽｸｵﾌの円買いが優勢となり、107.38まで下落。しかし、その後は全般的にﾄﾞﾙ買いが先行し、東京時間ｵｰﾌﾟﾝの107.70付近まで戻した。107.73ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾙは、1.2403ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。新規材料に欠けるなか、狭いﾚﾝｼﾞで売り買いが交錯した。1.2391ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は、日経平均株価が22,000円台を回復する中、107.85まで上昇。買い一巡後は107円台半ばまで反落し、「中国、米国産大豆の一部輸入停止を検討」とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが伝わるとﾘｽｸｵﾌの円買いが強まり、一時107.38をつける。しかし米株先物が底堅く推移する中、円買いの流れは長続きせず、107.76まで買い戻され、107.73ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は107.70近辺でもみ合い。米5月製造業PM(確報値)や米5月ISM製造業景況指数が発表されるも、予想範囲内だったことからﾄﾞﾙ円の反応は限定的だった。その後、ﾏｲﾅｽで寄り付いた米株がﾌﾟﾗｽ圏に浮上するとﾘｽｸｵﾌのﾄﾞﾙ買いが巻き戻され、107.53まで下落。午後は原油先物が上昇し、資源通貨に対してﾄﾞﾙが売られるが、米株の堅調推移が好感され、円も売られたことから、ﾄﾞﾙ円は107.60近辺での膠着状態が続き、そのまま107.60ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、欧州株の堅調推移や、ｲﾀﾘｱやｽﾍﾟｲﾝの5月製造業PMIが予想を上回ったことを受けて、3月17日以来の水準となる1.1154まで上昇。しかし、前述の米国産大豆の輸入停止のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝを受けて下落するﾕｰﾛ円につれ安となり、1.1101まで下落し、1.1113ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は特段のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝは見当たらなかったものの、ﾎﾟﾝﾄﾞﾙの買いにﾕｰﾛが連れ高となり、1.1140まで上昇。しかし、海外時間高値(1.1154)の手前で上値が重くなり、1.1123まで反落。売り一巡後は、ﾕｰﾛ買いの材料が乏しい中、原油先物の上昇を背景に資源国通貨に対するﾄﾞﾙ売りがﾕｰﾛﾄﾞﾙにも波及したことから、1.1137までじりじりと上昇し、結局、1.1135ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】 コロナ後のドル円相場

足元のドル円相場は、一進一退の展開。コロナとの闘いは長期戦が予想され、経済の先行き不透明感が強いなか、基軸通貨であるドル、対外債権国で安全資産とされる円とも買われやすく、ドル円では方向感が出づらい展開か。さてアフターコロナでの変化も見据え、相場を展望してみると、以下要因から、円高ドル安に進みやすいと予想する。

金融政策面では、危機対応下、黒田総裁「中央銀行としてできることは何でもやる」、パウエル議長「あらゆる範囲の手段を使う」として、日米とも金融緩和を強化。ただ米FRBに金融緩和余地が大きい点で、ドル安が進む展開に留意したい。緩和手段が米国版イールドカーブコントロール(YCC)になるか、反対意見も根強いマイナス金利になるかは不明だが、FOMC議事要旨や議長発言から、さらなる追加緩和の観測が強い。実行された場合に米金利に低下圧力が強まり、米債利回りを狙った投資意欲が減退すれば、ドル安円高に振れやすくなる可能性がある。

また需給面では、海外直接投資の動向に注目したい。7割経済と称される経済活動縮小を見据えた慎重な経営姿勢、手元資金確保から、積極的な投資はしばらく手控えられるのでは。直近1～3月では、世界全体のM&Aが金額ベースで、前年比約3割減少。またリーマンショック時には、世界全体のM&Aが金額ベースで元に戻るまで、6～7年要している。同様の動きとなれば、対外直投に伴う円売りの勢いが弱まりそう。

サプライチェーンの国内回帰にも注目したい。これまで輸入に頼っていた医療資材などが国内に入ってこなくなったという反省から、補正予算で2,200億円の補助金が盛り込まれた。かなりの割合の会社が供給網見直しを検討。コスト高でも国内で生産という動きになれば、輸入減少で、しばらくの間外貨需要の減少に影響する可能性がある。と悲観的な部分もあるが、事態が落ち着けば、内需減少で海外にビジネスチャンスを求める動きは強まるだろうし、サプライチェーンも別の海外に構築する動きもある。コロナ前の元には戻らないが、より良いニューノーマルに向けて、早期の事態鎮静化と経済再起動を願いたい。(山岸)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山岸・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682